

第21回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和6年9月28日(土) 午前10時30分～12時00分
- 2 開催場所 東小金井駅開設記念会館・マロンホール
- 3 参加者 市長及び市民14名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ (市政報告)
 - (3) 懇談 (フリーテーマ)
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	事業の名称の付け方について	<p>配布資料に「トワイライトステイ」という事業がありますが、その下に、「こがねいにこにこサポート」というのがあります。質問内容は、名前の付け方のニュアンスに統一感がないのは何故なんだろうということです。公的機関がつける名前の多くは、こういう不思議な、ブランド感の統一がされていない印象をすごく持っているのです。全国津々浦々になかよし公園みたいなものが点在しているといいますか、何か変だなと思っているのです。小金井市の場合は、こういうのは、どういうネーミングをされているのでしょうか。</p>	<p>名前のつけ方については、特段明確な、例えばガイドラインや考え方があるわけではないです。その事業の担当課の職員のほうで話し合っ決めていくという流れにはなっています。ちなみに、トワイライトステイは比較的一般名称になっておりまして、全国津々浦々、こういう事業をやっているところは、更に愛称をつけることはあるかもしれませんが、トワイライトステイという名称で大体通じている内容、名前になっています。</p> <p>この「こがねいにこにこサポート」は、確かにちょっと悩ましいところがありまして、これは国でやっている「こども誰でも通園制度」の東京都版ということなので、東京都の事業の内容が、「多様な他者との関わりの機会の創出事業」みたいな、分かりにくい名称になっているのです。それを分かりやすくしようということで、例えば、東京都版「こども誰でも通園制度」と書けば一番分かりやすいかもしれないのですけれども、東京都版というのでも、東京都の事業ですので、勝手に我々が東京都版とつけるわけにはいかなくて、そういう意味で、資料に書いておりますように、こどもが多様な他者との関わりの中で、様々な体験・経験を通じて、健やかな成長を図ることを目的としていて、その「健やかな成長を図る」というところから、「にこにこ」という言葉となり、それをサポートする・支援するというので、「にこにこサポート」という名称にしたというところでもあります。</p> <p>ただ、おっしゃっていただいたように、ブランドというわけではないのですけれども、私は、名前は非常に大事だと思っているので、ネーミングファーストと思っているぐらいですから、名称のつけ方については、まず、御意見として受け止めさせていただきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	都市計画道路 3・4・11号線について	<p>私は野川ほたる村の副村長しております。先輩が37年ぐらい前に、ホテルの再生ということで、汚れた野川を何とかしようと始めた団体です。そのおかげもあって、野川は大変清流になり、素晴らしい自然があります。それに大いに関係のある優先整備路線として、主要なものが2つあります。市がお金をかけて調査しておるようですが、皆さんも御存じの3・4・11号線が縦に、それから3・4・1号線が横にあって、我々の村長が中心に特に反対しているのは、3・4・1号のほうです。この問題が市議会で出た時に訴えたところ、議長以下議員も全員、3・4・1号線のこのラインは要らないといった。みんなが要らないと思っているから、やらないだろうと思っているのですけれども、最近、仲間が言うに、国分寺のところでは、既に、3・4・1号線の国分寺側で動きがあって、かなり動いておるといような話です。ただ、東日本大震災が起きて、首都圏も、東日本大地震の起きる可能性があるということを考えて、ほっておけないという面があるから、最大公約数という、それは最優先でやらなくてはならないということかもしれないけれども、よく冷静に考えると、必要な部分まで金をかけてやるべきかと、止められないものかと強く思いますので、よくそれをお考えいただきたい。</p> <p>私は野川ほたる村で、南小の課外授業みたいところで、野川の自然をPRしていますが、奥深い自然があって、これを知っているのは私ぐらいだなと思うぐらいです。小金井市は小金井市で、よく考えてもらいたいです。</p>	<p>優先整備路線、都市計画道路につきましては、先ほども御説明をしたとおり、私は中止・見直しの要望を出したいということです。都市計画マスタープランに準じて考えると、市としてしっかり根拠を示すということが必要になったということで、今、検証しております。</p> <p>ただ、おっしゃっていただいたとおり、東京都としては3・4・11号線を進めたい。3・4・1号線も、もともと、以前の都市計画マスタープランでは、市としては、路線の変更を求めていくという位置づけになったにもかかわらず、今から約9年前、優先整備路線に指定されてしまいました。国分寺のほうに動きがあるというのも、何となく私も察知はしているところであります。</p> <p>いずれにしても、市としてどういう態度を取るか、何ができるか、これを検証含めて、しっかり突き詰めていきたいと思っております。いずれにしても、自然環境を破壊するようなことにはならないということを、私としては求めていきたいと思っております。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
	都市計画道路 3・4・11号線について	<p>縦に走る3・4・11号線について、どれぐらい実行の可能性が高いかが少し分からないところですが、確かに、防災の観点などで必要なかもしれないと思う道路ではあります。今、中止・見直しの要望に当たって根拠を示す必要があるため、独自検証されているということなのですが、一市民として思うのが、市庁舎の話もそうだったのですが、「色々頑張ったのだけれども、やることになってしまいました」という未来もあり得るのかなと思っています。</p> <p>私は住み始めてから、そんなに長く小金井市に在住しているわけではないのですが、野川や武蔵野公園、野川公園、野川沿いも、本当に素晴らしい環境だと思っていて、その割にそんなに認知されていないような気もしています。こんなに素晴らしい自然があることを、私も住み始めるまで全然知らなかったです。周りの人や、小金井市在住ではない知り合いに聞いてみても、小金井公園は結構有名なのですが、武蔵野公園だったり、野川公園だったり、この野川沿いの大変素晴らしい自然というのは、あまり認知されていないので、それが非常にもったいないと思っています。私は、この3・4・11号線の道路が、防災の観点からできると仮定した場合に、次善の策として、自然と調和するような、例えばですけれども、駐車場のようなものもできて、大変素晴らしい自然を少し体験できるようなところを造るとか。箱物をたくさん造るのは、またそれはそれでいろいろ問題があると思うのですけれども。</p> <p>自然を破壊するから絶対反対で、片や、防災に必要というところの、この折衷説じゃないですけれども、自然を活かして、小金井市にはこんな素晴らしい自然があるとアピールして、でも防災の観点でこの道路が必要なのであれば、次善策として、例えば、風景をこんなふうに残したらどうですかとか、こういうことを盛り込んでくださいとか、もうちょっと自然豊かなところは付け足して、差引きゼロじゃないですけれども、何かそういう建設的、前に進める、でもこの自然も残す」とアピールするという方向に進めるというのでもいいんじゃないかなと思っています。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>都市計画道路、その3・4・11号線について、いま実際、東京都はどこまで進んでいるのかという話なのですが、環境調査や、昨年、概略設計ということはやっています。概略設計とは、「造るのだったらこういう設計かな」という概略の設計のことです。ただ、それは開示されていません。我々が取り寄せても黒塗りになっています。要するに、もう概略設計までやっているの、あとはオープンハウスをやって測量説明会をやって事業認可という、そういう段取りの手前まで来ています。ですので、3・4・11号線については、東京都としては進めたいので進めるべく、着々と歩みをこれまで進めてきたという状況にはなっています。</p> <p>その上で、中止・見直しの要望をするという私の意思もあり、この間、要望書を出そうかということでもいろいろ動いてきたわけでありまして、ただ、小金井市の都市計画マスタープランというのがあって、これは市の都市計画の骨格の計画ですが、そこには検証として、しっかり根拠を示して、関係機関と調整した上で、必要なものを見直すという書き方になっています。都市計画道路自体も、かつて東京都と協議をした結果、今この2本の路線が優先整備路線に指定されているという事実がありますので、市としても、仮に見直すのであれば、社会状況がこう変わったとか、合理性や必要性について、根拠をしっかりと東京都に示さなくては行けない。そのための検証というのを、今行っているところなんです。</p> <p>これは、議会でもやはり話題になっていまして、私が中止・見直しを要望するとずっと言っているの、それを裏づけるためのものでしかないのかということも言われております。ただ私は、中止・見直しにならない結果も、可能性がゼロではないという話もしています。やはり客観的にしっかりと検証した上で、市として責任を持って判断しないといけませんので。少なくとも、中止・見直しを要望するという思いを持って行うためには、根拠を示す必要があるため検証していますが、結果的にこの道路に対する姿勢をどうするかは、これから検証した上での判断とはなりません。</p> <p>ただ、私はもともと、東町5丁目の連雀通りの南側、まさに、この3・4・11号線のすぐ近くに住んでいたのです。今から17年前に小金井市に転居して住み始めたのですけれども、ちょっと南側に歩いて散歩をすると、こういう環境があるとは知らなかった。坂を下ったところに野川があって、武蔵野公園、野川公園が広がっているこの環境を見た瞬間のインパクトというのはすさまじく、こんな環境がここにあるのかと。そこから、この地域、この周辺の環境を、私としても大事にすべきだとは思ってきたところではあります。</p> <p>さっきのご質問にもありましたけれども、この武蔵野公園や野川といった、この辺りの自然環境というのを、私としてはやはり壊したくないと思っている。一方で、いろいろな御意見としていただくのは、防災の観点からも、いざ災害が起こったときに、やはり南北をつなげる道路が、東は天文台通り、西は小金井街道まで行かないとない。ここはやはり、非常にクリティカルな問題になっているとは思っています。仮に造る場合の御意見をいただきましたが、それは御意見としていただいております。ただ、自然環境のアピールがまだ十分出来ていないということは、私としても感じているところではありますので、造る・造らない関係なく、しっかりと、小金井の宝としてアピールしていきたいなと思っております。</p>
3	新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設について	<p>市庁舎問題絡みですが、ますます建設費が高くなって、問題になっている。空き地がない、広場がないというけれども、これはどう考えたって猫の額ぐらいいか取れません。</p> <p>私は、東側にある植栽業者に働きかけて、長期計画で「市民がいざという場合に逃げ込める広場」を提案したいです。大久保園も近くにイモ畑があるけれども、個人経営のところへ広場といえども勝手に入るわけにいかないかもしれないから、樹木をちゃんと配してつくってほしい。それは遠大ですけれども大事なことだろうということで、提案です。</p>	<p>まずは御提案として受け止めさせていただきます。あの周辺になかなか大きな広場がないということは、もう以前から言われていることで、私も承知をしているところでありますので、引き続き、農地の御協力も含めて、いろいろ考えていきたいと思っております。</p>

件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
<p>新庁舎・（仮称）新福祉会館建設について</p>	<p>市役所建設の住民投票条例の件で市長に伺います。否決になった件について、市長は、この資料にもありますけれども、「これまでの市民参加による市民の意見反映や市議会での議論を踏まえた現状を無視する、民主的な手続を否定するものと言えます」と語っております。また、別なページでは、「この両者の賛否を問う住民投票は適当ではないと言わざるを得ない」とも書かれています。ここで伺います。</p> <p>基本設計以降、今日に至るまで、その民主的手続というのが、市民の納得と共感が得られていないから、今回のような住民投票という市民運動に至り、3,876名の御署名があったというふうに思いませんか。白井市長は、その本心が、以前ここで2人だけでお話をしたときに、もし見直し案が広く市民案として広まってしまうと、現行案が針の穴からダムが決壊する可能性があることを恐れていると私は感じました。住民投票そのものに反対した理由がここにあると考えます。白井市長御自身が進める現行案に、科学的な説明がつかない、自信がないから、前任の西岡市長がやってきたから、または公約で記載しているから、そういうふうに、もうやらざるを得ないと考えているのではないのでしょうか。</p> <p>我々が考えるこの条例案は、お一人お一人の市民が、良いと思う案に丸をつけて意思を示すという住民投票の条例文にしております。ですから、住民投票をきちんと実施をして、市長の御自身の公約も実現できる可能性がちゃんと用意されているのです。逆にそうならない場合もあります。見直し案のほうが優れている、その上で、この事業の進行判断を行うのが私は政治の道だと思っています。広く市民に今までの経緯と情報を周知して、多数を得た案を選ぶことが、163億円の事業の正道であると私は考えますが、これについて市長の考えを伺います。</p> <p>もう1点あります。現行案の建築的に誇れるところ、これを今日ここにおられる市民の方に、御紹介いただければというふうに思います。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>まず、その住民投票条例につきましては、先ほど御報告いたしたとおり、市としては、現設計をずっと進めてきました。それと、設計ではない、条件だけを書き出した見直し案というのは比較対象にはならないので、この両者の賛否を問う住民投票というのは適当ではない、こういうふうにお伝えしたところであり、それはもうご自身も分かっていると思いますけれども、これは、基本構想、基本計画から始めて、もう10年以上かかっております。市民参加を経て、当然つくってきたわけですが、さっきご自身からは、市民の納得、共感を得られていないというお話がありました。どんな事業でもそうなのですけれども、皆さんの納得が得られるというのは、なかなか難しいわけです。いろいろな事業がありますけれども、それは賛否が分かれるのは当然であります。その中でも、この新庁舎・新福祉会館建設事業というのは、10年以上かけて、基本計画の策定から、基本設計、実施設計、そして途中で実施設計が中断いたしました。私が市長になってから実施設計を再開するんだということを進めてきたわけでありまして。ワークショップを含めて、パブコメもやりましたけれども、様々な市民参加を経て、しかも基本設計、実施設計ともに議会の議決を得て進めてきたわけでありまして、納得されないという御意見は、御意見として受け止めますが、その中でも、この事業というのは、進めることが市政の進展につながるということをやっと繰り返し伝えてきたわけでありまして。</p> <p>福祉のまちづくりの拠点が市の中心部にできます。保健センター、こども家庭センター、福祉総合相談窓口。これが市の中心部にできるのです。庁舎が移転すること、もしくはその保健センターが移転することによって、その跡地活用によって、新たな機能をまた市のもともとの跡地のほうにつくることができます。これはどういうふうにやっていくかということも併せて、今並行して、跡地活用の方針というのを定めて、これから並行して議論していくわけでありまして。</p> <p>また、今の本庁舎、私の市長室があるところすけれども、もう築60年になりまして、本当にもう老朽化が激しくて、4階建てなのにエレベーターがない。これはエレベーターをつけようにも、建築基準法に違反して違法建築となってしまうので、つけられない。いざ災害が起こったときに、災害対応本部をつくらなくてはいけないのですけれども、それがままならないと想定されます。今、第二庁舎はリース庁舎ですので、要するに借り物なのです。賃貸庁舎ですので、毎年約三、四千万円ぐらいを払って、入居させていただいております。今、スペースの問題もありまして、抜本的な組織改正がなかなかできないです。組織自体が実はもう古い組織のままになっておりまして、庁舎移転することによって、それも解消できるということで、この庁舎、福祉会館の建設を進めることが、市政の進展につながるということであります。</p> <p>です。設計そのものについては、こういうふうにしたらいいのではないかと、もっとこう、このほうがいいんじゃないかと、いろいろな御意見がある中において、我々としては、課せられたその課題を解決するために、この設計でこの事業を進めていくということになります。</p> <p>建設費がもう、うなぎ登りに右肩上がり上がり続けている状況ですので、遅れれば遅れるほど不利な条件となります。この庁舎、福祉会館の課題というのは、結局、先送りできない、先送りしたとしても、いずれやらないといけません。結局、今、市民要望として多いのは、やはり図書館などのきれいなものを造ってほしいという声です。その他にもいろいろ御意見いただいておりますが、この庁舎・福祉会館をまず形にしなければ、次の課題に行くわけにいかないのです。順番にやるべきことをしっかりやっていく。これが市政を責任持って進めていく立場だと考えておりますので、全てにお答えできておりませんが、このまま、我々としては、しっかり議会の理解も得て、進めさせていただきたいと思っております。</p>
	<p>市長は以前、設計については、自分は素人なので分からないとおっしゃっていましたが、設計というのはどういふものと考えておられますか。住民投票が否決されたわけではないですか。議会は否決をして、市長は反対意見を付したわけですね。その反対意見の根拠が、「設計でない見直し案・市民案とは比較にならない」とおっしゃる。それは設計というものを間違えて理解している上での反対意見です。</p>	<p>これ以上は、時間の関係もございまして、改めて、お答えさせていただきます。また、設計のお仕事をされているご自身とそのやり取りをするのは適切ではないと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	英語の体験格差について	<p>うちには小学校3年生の息子がいるのですが、今年から外国語活動という授業が学校で始まりました。授業を見てきたりもしたのですが、小学校3年生の時点で、英語教育の格差みたいなことが結構あるのかなと思いました。もちろん、育ってきた環境にもよるとは思うのですが、例えば御両親が熱心な御家庭だと、例えば英語の保育園に行っていたとか、英語学童に行っていますとか、何もやっていない子との差はすごくあると思っています。例えば市で、放課後子ども教室みたいなものがあると思うのですが、そういう感じで、放課後英語教室とか、要是英語を習いたいけれども習えない子たちのために、何かそういう取組とかがあったらいいなという要望があります。それが無理だったら、例えば市内の英会話教室や英語学校で使えるクーポンみたいなものを配ってあげるとか、そういうことがあると、そういった格差がなくなるんじゃないかなと。「小金井市は英語教育にすごく力を入れています」みたいなものが広がれば、小金井で子育てしたいなとかと思う人も出てくるんじゃないのかなと思います。</p>	<p>英語の格差みたいなものをお感じになったということで、英語のみならず、よく言われることではあるのですが、そもそも教育に関する様々な部分での格差というか、体験格差という言葉もあります。教育熱心な御家庭であればあるほど、そういうところに小さい頃から子どもを通わせたり。子どもの意志もあるかもしれませんが、そういう状況で差が出てきているのではないかとはいわれています。実体験としてどうなのかというのは、私もまだ感じてはいないのですが、少なからず、大きな意味での教育格差というのは、御家庭の状況によってはあるのではないかとはいわれています。</p> <p>御提案いただいた、例えば、放課後子ども教室とか、もしくは別の手段で、そういう格差解消のための手段を取れないかということですが、これについては今後真剣に考えていかないとはいえないとは思っています。さっき紹介したように、教育長とも「放課後をより充実させるためにはどうするか」ということを、いろいろ話し始めているところです。</p> <p>以前、ちょっと具体的には申し上げませんが、特に区部のほうで中心的に活動している、放課後を支援する民間の団体とも話をし、他でどういう取組をやっているのかは聞いているところですので、今すぐというわけにはならないですが、今後、「放課後をより充実させるためにはどうするか」ということを考えていく予定にはなっております。</p>
5	学童卒所後の居場所づくりについて	<p>息子が小学校3年生で、来年以降、学童を出なければいけません。小金井だけではなく、世間で小4の壁とよく言われていますが、夏休みをどうしようとすごく悩んでいます。周りのお母さんたちに聞くと、別に受験するわけじゃないのに、塾の夏期講習に入れなきゃいけない、そうすると10万円掛かってしまうとか、それをみんな自分で出しているのかと思うと、ちょっとぞっとしまして。何とか、せめて夏休みとか春休みとかだけでも、何か子どもの居場所をつくっていただけるとありがたいかなと思っています。</p>	<p>学童を卒所して4年生以降はどうするかということ。これも放課後のみならず、特に長期休暇中の子どもの過ごし方や居場所について、常々課題ではあり続けておりますので、まずは御意見として、担当とも共有をして、今後何ができるかを考えていきたいと思っております。</p>
6	道路に張り出した樹木について	<p>最近散歩をしていると、近隣の住宅の敷地内から、公道や歩道に張り出した樹木の枝葉が非常に多いことや、その近くにある側溝とか排水溝が落ち葉等でかなり汚れていることに気が付きました。樹木がかなり巨大化しているとも感じます。その影響として、自動車や自転車、歩行者の支障となることもありますし、道路標識も見えにくくなります。樹木が巨大化していることで、電柱・電線のショートによる火災等も考えられるのではないかと考えています。</p> <p>あと、救急車等の緊急車両がよくうちの前の辺りも通るのですが、ちょうどその枝葉なんか擦れてすごい音がしたりして、かなり飛び散ります。また、豪雨等で排水溝や側溝がかなり詰まって、道路の冠水を起こす可能性も考えられるのではないかと思います。</p> <p>それで実際に、住宅敷地に大きな木があるところに対して、私が1回、管理をしっかりとしてくださいという注意をしたのですが、それがもう10年ぐらい続いています。そういう経験もありますので、小金井市のほうで、そういったことをちょっと取り締まるというか、そういうような条例等を制定していただけて、安心した暮らしができるようにしていただきたいなと思っております。</p>	<p>皆様のお手元にはないと思いますが、非常に分かりやすい、写真も入れた資料を先ほどいただいたところです。</p> <p>このような御意見というのは、日々、担当の道路管理課とか、市役所のほうに寄せられております。市としても、枝木が出ていっているところについては、注意させていただいたりしているところなのですが、強制力を働かせるわけにはいきませんので、非常に悩ましいところです。</p> <p>ただ、さっき問題提起していただいたように、交通上での支障もそうですし、その道路標識が見にくいというのは、事故にも繋がるということです。電柱や電線にかかっている枝木も多いので、停電も含めて、火災の原因にもなるのではないかとということも非常に重要な指摘だと思っておりますので、条例が適切なかどうかというのは、他の事例も見て、我々として今以上の対策ができるかということは考えたいと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	東小金井駅南口の再開発について	武蔵小金井駅前、最初に南口のほうが開発されて、北口もこれからです。東小金井駅前については、北口が今、再開発されようとしているところですが、南口について何か展望があればお聞きしたいです。東小金井駅南口は、今、非常にローカルな商店街があって、起業や、何かやりたい人がトライアルするような場として生かしていくという検討が少しあると読んだ気がします。でも、改めて探すと見つからなかったもので、間違いだったのかもしれないのですけれども、東小金井の南口について、市としてどんなお考えを持たれているかというご質問です。	東小金井駅北口は再開発ではなくて、実は土地区画整理という、少し分かりにくい事業をやっています。要するに、区画を整理し直して、土地の価値を上げていこうという事業で、もう20年近くやっています。このたび事業を少し延伸することになりましたが、一応、令和12年度ということで、あと5年ぐらいで北口の駅前広場もできます。マルエツの建物の南側の駐車場になっているところが広場になる予定ですので、そういうことも含めてきれいに整備されます。南口については、特に何か整備するという計画はないです。ただ、南口商店街の栗山通りも、実は都市計画道路が一応線としては入っているのです。ですので、何か整備をするということは、すなわち都市計画道路を造るということにはなりません。そうすると、やはり今の商店街の、個店が並んで良いお店が入っている、ああいう雰囲気の商店街がもうなくなってしまって、個店が入れないような通りになってしまうのは商店街としてどうなのかと、地元の商店会の皆さんがずっと思っているところなので、ここに都市計画道路を通すのは反対だということを示されておりまして、ですので、今のところ南口に新たな展開があるかということ、「ない」というのが現状でございます。私もあそここの雰囲気はやはり良いなと思いますし、ただ、今後どうしていくかというのは、地元でいろいろと御意見を出しながら話し合っていくかなと思っております。直近で何か動きがあるわけではないです。
8	都市計画マスタープラン啓発のお芝居について	少し宣伝みたいになってしまうのですが、現在、都市計画課さんとの協働事業として、都市計画マスタープランに基づいた台本で11月にお芝居をさせていただくことになっています。場所はマロンホールのギャラリーというところで、現在、市民の小学生が12名と、大人の方が8名、計20名の方が出演してくださって、小金井桜、新庁舎、COCOバス問題やみ出している樹木の問題などを、こどもたちがセリフの中に織り交ぜています。「今後も小金井市が緑と都市感の両立したすばらしい市であるように」とお芝居をつくらせていただいています。現在、市民の皆さんが40名以上関わってくださっていて、非常に大きなムーブメントになっているのではないかと、お芝居をつくりながら感じているのですが、ぜひ市長には見にいらしていただきたいなという要望が一番大きいです。	協働事業でやっていただいておりますので、私もスケジュールの調整をしておりますので、何とか見に行きたいとは思っております。
9	市報掲載の職名について	9月15日号の市報について、真ん中のところにQRを載せていただいて、今回の都市計画マスタープランのお芝居のことがあるのですが、関係者一同、全く見つけることができないデザインで、デザインした方には申し訳ないのですが、ちょっと扱いがひどいのではないかなと、すごく残念な思いをいたしましたので、ぜひ次には…。QRも小さくてなかなか読めないことがあったので、ぜひ10月15日号は大きく取り扱っていただくと、こどもたちも喜ぶなということが1つ目の要望です。 2つ目は質問です。私は個人事業でカルチャースクールの塾長をやっているのですけれども、今まで市報に載せていただくときには、カルチャースクールの名前が塾長というふうに書いていただいていたのですが、8月1日号はなぜか演出家というふうに書かれていました。私の職業は演出家ではなく、私も自分の職業を非常に大事にしております。文字数の問題か何かがあったのかもしれませんが、もし今後、市報に個人名と職業が載るときには、何か簡略化した名前を提示させていただいたほうがよろしいのか、お伺いしたいです。お電話でご連絡したのですが、折り返しになったままご連絡いただけておりませんので。	9月15日号の市報でQRコードが目立たなかったということで、デザインは全体的に工夫したつもりだったので、そこが気づかれなかったとのこと、反省をしております。以後、気をつけたいと思います。また、8月15日号の市報で、職業名が、ある意味勝手に簡略化されていたということと、折り返すというしながら、電話できていなかった件につきまして、大変申し訳ありません。 【事務局】 確認してみたいと思います。基本的にはそういうことはしないというか、頂いたものをベースにさせていただきますので、どういう経緯があったか確認させていただきたいと思っております。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
10	市内のお店について	<p>市政や庁舎に特に不満があるというわけではないのですが、小金井市がこうあったらもっと良いのに、と思う点が少しあります。例えば、秋になってマツタケの土瓶蒸しでも食べたいなと思っても、それを提供しているお店は小金井にありますか。ちょっと気のきいたものが食べたなと思うときは、いつも市外に出なくてはならない。そういう物欲というか購買欲が、市外の他の街に流出してしまっているということで、結構損をしているんじゃないかなと。これは前々から言われているようなのですが、なかなか改善が図られてないという感じがします。これは一つの例として、まだまだ沢山あります。焼肉定食や豚の生姜焼き定食など、ちょっとしたもので食べたいものが手近にないのです。みんな外に出て行かなくてはならない。</p>	<p>食べたいものや欲しいものがあったとしても、なかなか市内に無く、市外に出て行ってしまわないといけなくて、これはもったいないというお話がありました。それは、私も感じているところです。特に、コロナの時期は本当に生命に関わったので駄目だったのですけれども、逆に言うと外に出ないきっかけになったので、市内のお店やそういうものを利用するきっかけになったのではないかなと思います。まだまだ、市内のお店であつたりだとか、そういうものを知らない方が多いという印象を持っておりますので、例えば商工会さんや商店会さんなんかと協力して、市内のお店を利用していただけような働きかけや仕掛けに取り組む必要もあると考えております。ちなみに、焼き肉定食を提供しているお店はいくつかありますし、豚の生姜焼きも南口のお店にもありますし、できればこういうことも伝わるようにしていきたいと思っています。東小金井駅南口はいろいろなお店がありますから、ぜひ御利用ください。</p>
11	街のイルミネーションについて	<p>小金井市は自然や緑は素晴らしいけれども、市街地や商店街が美しいかなと。中央線沿線や、府中なんかと比べてみると、私の目から見ると必ずしも美しいとは言えないです。例えば、国立は並木が通っているし、府中もケヤキ並木が通っていて、恵まれている。それ以外にも、小金井は商店街も住宅街も、道路が整然としていないところもあって、なかなかきれいな街じゃないなというのがある。これは今更変えようもないですが、変え得る余地が一つある。冬場、中央線の駅で降りると、武蔵小金井も東小金井も、武蔵境とか三鷹、吉祥寺、国立なんかの駅に比べると本当に暗い。なぜかというのと、他の街はみんな趣向を凝らしたイルミネーションで光り輝いているのですよ。武蔵小金井や東小金井もやっただけでも、ものすごくお粗末で暗いです。他の駅と比べると、歴然とした差が出てしまって、小金井市って暗いねという印象になってしまうのです。そここのところは改善の余地はあると私は思います。なので、例えばですけれども、武蔵小金井の南口は結構大きな木が広場にありますが、ちょっとイルミネーションでもしたらどうでしょうかという御提案です。小金井は、「金」という文字が入っているから、黄金色の光のイルミネーションにしたらいいです。光り輝く街ということで、少しでも美しく、少しでもイメージアップができれば、小金井の更なる発展や飛躍にも繋がるのじゃないかなと思います。</p>	<p>イルミネーションのお話をいただきました。実は、私が市議会議員のときもそうですけれども、何度かそういう御提案というのは議会でも話題になっておりますし、何度か市民の方からも言われたこともあります。今すぐやる、やらないということはお答えできませんけれども、そういう御意見があるということは、改めて受け止めておきたいと思えます。他の街は駅を降りたところでやっているということは、私も知っておりますので、それと比べて、小金井の街がなかなかちょっと寂しいねと言われるのは、非常に私もつらいところですし、御意見として受け止めさせていただきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
12	武蔵小金井駅北口の再開発事業について	<p>武蔵小金井駅の北口の再開発の件で、ちょっとお尋ねしたいことがあります。あそこに、130メートル、40階建ての高層マンションができるというふうなことを、ネットでたまたま見かけました。正直、その数字だけでびっくりしてしまいました。今の南口のエリアは、かなり公共スペースも取ってあって、すごく環境もいいかなと思ってはいるのですが、あのエリアでも、20数階建てのビルということです。計画書のほうを見ると、南口とバランスを取って、最高130メートルで設定しましたというふうに書いてあるのですが、それが果たしてバランスが取れているのでしょうか。イメージ図を見たら、その40階建てのビルのすぐ横に、狭いムサコ通りがあるような絵になっていて、公共スペースがなく、狭いあのエリアに、その階数というのは果たして適正なのかどうか。</p> <p>最近またネットを見ていたら、その計画に対する意見書と、それに対する市の回答ということが公開されていました。それを見ても、やはり同じような意見の方がたくさんいらっしゃるのだなと少し安心したのですけれども、計画は進められていて、今年度、正式にどうするか決定すると書かれています。市長はどのようにお考えなのかを少々お伺いしたいなと思いました。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>武蔵小金井駅北口の東側地区の再開発の事業について御質問いただいております。まず、やはり高さの件はおっしゃっていただいたとおり、多くの方に御意見はいただいているところですので、今、南口はたしか95メートルだったと思うのですけれども、それに対して北口は130メートルなので、高くなっている。ただ、その「バランスを取った」というのは、都市計画上の考え方からすると、南側から見たときにバランスを取っているということらしいです。</p> <p>ただ一つ難点があって、あそこは今、高さ制限が無いのです。なので、逆に言うと、しっかり高さの制限を設けたというところがあります。あとは、なぜ130メートルなのというところがあるので、すけれども、今回この武蔵小金井北口東側地区の再開発事業というのは、市の事業ではなくて、地元の地権者の皆さんで組合をつくって行く、組合施行の事業なのです。地元の皆さんでまちづくりを進めるということに対して、市としては、全く関わっていないわけではなくて、都市計画の変更を行うなど、市としてしっかりと支援をする。それはまちづくり条例でも定められております。</p> <p>再開発をやるとなれば、組合施行であっても、市としては、補助金を支出することになります。ただ、これは単にお金を出すというだけではなくて、公共空間を生み出していただくということも市として要望しているのです。公共空間というのは、例えば、建物の中に床をもらえるかというところではなくて、例えば道路。ムサコ通りを挟んだ北側にも低層の建物を建てるということになっておりますが、挟んでいるムサコ通りも、道路幅を少し広げます。歩道空間をしっかりと確保することによって、交通の安全性も保つ。また、武蔵小金井の北口は見ただけだと分かるのですけれども、全くスペースがないのです。人が集う場所や、木や自然もないですし、そういう空間が全くないということは、やはり市の玄関口としてどうなのかと。さっき名勝小金井桜の話をしました。これは玉川上水沿いで、もともと武蔵小金井の玄関口は北口だったのです。商店街がもともとしっかりあったということもあるのですけれども、今は南口のほうに先に再開発されたので、南口がメインになってしまっていますけれども、もともとは北口が玄関口でした。それを何とかやりたいという、地元の地権者の皆さんの思いがあり、市としては、スペースをつくってほしいという話をしています。全く滞留する場所がないというのはどうなのか、それで全く木が植わっていないのはどうなのか。そういうところを公共空間としてしっかりと整備をして、道路を少し広げて、安全に通行できるようなスペースを確保することなのです。</p> <p>あと、北側の低層階の建物の屋上は、屋上の庭園みたいな空間もつくっていただけるという話もあるので、総合的にあそこの北口の環境をよりよくするという。それと併せて、今、人がみんな南側に流れていて、何か用事があったら、みんな南に行ってしまうのですけれども、やはり北側に人を流すということ。そして、東久留米や清瀬に帰られる方で、通勤でロータリーを使っている方がいらっしゃるのですけれども、単にバスに乗って帰るだけなので、できれば、うまくムサコ通りに抜ける空間をつくって、ムサコ通りの商店街とかお店を利用していただけるような、そういう人の流れをつくってほしいということも、我々としてはお願いしているところです。総合的に北口が更に新しいにぎわいの拠点になるということと、人の動線を変えていくということも含めて、市としては、しっかりと支援をしていこうという思いです。やはり今、建築費が高騰していることもあって、事業の採算性を考えると、やはりある程度床面積が必要になるということ、こういうことも含めて、我々としては、今の計画について、しっかりと支援をして定めていこうということになっているところですので。</p> <p>専門的な話も多かったのですけれども、一応予定としては、今年中に都市計画決定という決定をします。正式な決定は、今年、多分11月だと思うのですけれども、都市計画審議会という市の審議会です。都市計画決定をするということになりますので、その段階で正式に決まるということになります。そして、来年度以降、事業計画をしっかりとつくって、まだ明確にはなっていませんけれども、5年ぐらいたてば完成するというような、そんなイメージで捉えていただければと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
13	長期総合計画について	<p>また庁内で検討していただきたいと思うのですが、現在の小金井市の総合計画についてです。いろいろな計画が自治体の中にある中で、総合計画は計画の一番トップにある計画だと思うのです。現在の小金井市が持っている総合計画は、やはりちょっと古い。率直な感じでいうと、やはり1990年代の、30年前ぐらいの計画という印象がありまして、改定されるのであれば、市民の人に分かりやすく、市民の人が読みたくなるような計画であって、職員の人が扱いやすい計画に改善しながら、作り直していただければと思っています。どこが古い印象かというと、「総花的」というところです。事業が分野ごとに整理はされていますが、羅列されていて、向こう5年間とか、あるいは基本構想だったら10年間の目標の中で、どこに力を入れていくのかという、その戦略的な視点というのがやっぱり見られない。多分、民間企業だったらそういうのは当然のことだと思うのです。</p> <p>時代の変化が激しくて、先行きが不透明な中で進めていかなくてはいけない時代です。であればこそ、戦略性というのがやっぱり非常に大事になってくるので、これとこれをやりますというのを整理して羅列しているだけではなくて、そういう計画になるように作り上げていただきたいです。そこがしっかりしないで、他の計画もガタガタになっていくことを非常に危惧しております。それが大事かなと思いました。</p>	<p>今おっしゃったのは、基本構想が10年ものなので、後期基本計画をつくるときには、まずは戦略的なものをしっかりと織り込んでいくということですね。貴重な御意見として受け止めさせていただきます。</p>